

研究・調査報告書

報告書番号	担当
72	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Alcohol intake and noncoronary cardiovascular diseases. 飲酒と冠動脈疾患以外の循環器疾患との関連	
執筆者 Mukamal K.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Ann Epidemiol. 2007 May;17(5 Suppl):S8-S12. Review.	
キーワード 中等度飲酒、循環器疾患、コホート研究、断面研究、総説	
要 旨 <p>中等度の飲酒は冠動脈疾患以外の循環器疾患とも複雑な関連がある。近年のコホート研究では飲酒と脳梗塞との間に弱い関連が示されており、リスク比は約0.8で、1日1杯未満の飲酒がもっとも予防的と考えられている。それとは対照的に、出血性脳卒中については飲酒量にかかわらず、ほぼ量反応関係がみられる。いくつかの前向き研究によると、中等度の飲酒はうつ血性心不全に予防的に働く。中等度飲酒の範囲内で量反応関係がみられるが、機序については明らかにされていない。この機序は、中等度飲酒が心筋梗塞に対して予防的に働く機序とは異なるようである。コホート研究では、1日の飲酒量が3杯未満であれば、長期間の飲酒と心房細動との間に関係を認めない。最後に、2つの前向き研究で、中等度の飲酒が跛行やより重篤な末梢血管性疾患に対して予防的に働いており、同様の関連は、断面研究でも飲酒量と足関節/上腕血圧比 (ABI) との関連として示されている。</p>	